

平成31年度収支予算書

(正味財産増減計算ベース)

平成31年1月1日から平成31年12月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計 (助成事業)	法人会計	合 計 (A)	平成30年度予算 (B)	増 減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	19,886	8,522	28,408	30,376	-1,968
基本財産受取利息	19,886	8,522	28,408	30,376	-1,968
② 特定資産運用益	133	0	133	5	128
運営強化資金引当預金受取利息	57	0	57	3	54
支払助成金加算積立資金受取利息	76	0	76	2	74
経常収益計	20,019	8,522	28,541	30,381	-1,840
(2) 経常費用					
① 事業費	27,300	0	27,300	27,195	105
支払助成金	20,000		20,000	19,500	500
(試験研究助成1)	(11,000)		(11,000)	(11,000)	0
(試験研究助成2)	(3,000)		(3,000)	(3,000)	0
(国際交流助成1)	(2,500)		(2,500)	(2,250)	250
(国際交流助成2)	(900)		(900)	(650)	250
(研究成果の出版助成1)	(700)		(700)	(700)	0
(研究成果の出版助成2)	(300)		(300)	(300)	0
(研究発表等の開催助成1)	(1,200)		(1,200)	(1,200)	0
(研究発表等の開催助成2)	(400)		(400)	(400)	0
給料手当	160		160	160	0
福利厚生費	0		0	0	0
研修費	10		10	10	0
会議費	800		800	800	0
旅費交通費	200		200	200	0
通信運搬費	200		200	200	0
減価償却費	285		285	285	0
消耗什器備品費	100		100	100	0
消耗品費	200		200	300	-100
印刷製本費	851		851	800	51
光熱水料費	460		460	460	0
賃借料	1,750		1,750	1,750	0
諸謝金	2,074		2,074	2,370	-296
諸会費	0		0	0	0
雑費	210		210	260	-50
② 管理費	0	6,100	6,100	6,307	-207
給料手当		810	810	810	0
福利厚生費		110	110	110	0
研修費		40	40	40	0
会議費		250	250	250	0
旅費交通費		350	350	350	0
通信運搬費		200	200	200	0
減価償却費		121	121	126	-5
消耗什器備品費		100	100	200	-100
消耗品費		250	250	250	0
印刷製本費		500	500	450	50
光熱水料費		540	540	540	0
賃借料		1,510	1,510	1,510	0
諸謝金		700	700	700	0
諸会費		111	111	111	0
租税公課		10	10	10	0
雑費		498	498	650	-152
経常費用計	27,300	6,100	33,400	33,502	-102
評価損益等調整前当期経常増減額	-7,281	2,422	-4,859	-3,121	-1,738
基本財産評価損益等					
特定資産評価損益等					
投資有価証券評価損益等					
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-7,281	2,422	-4,859	-3,121	-1,738
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-7,281	2,422	-4,859	-3,121	-1,738
一般正味財産期首残高			69,148	71,960	-2,812
一般正味財産期末残高			64,289	68,839	-4,550
II 指定正味財産増減の部					
① 基本財産運用益	18,855	8,080	26,935	28,769	-1,834
基本財産受取利息	18,855	8,080	26,935	28,769	-1,834
② 一般正味財産への振替額	-19,886	-8,522	-28,408	-30,376	1,968
③ 基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	-1,031	-442	-1,473	-1,607	134
指定正味財産期首残高			2,102,563	2,104,171	-1,608
指定正味財産期末残高			2,101,090	2,102,564	-1,474
III 正味財産期末残高			2,165,379	2,171,403	-6,024

(注1) 事業費の支払助成金のうち、「助成1」はエネルギー・リサイクル分野への助成に充てる分、「助成2」は総合防災科学分野への助成に充てる分

(注2) 当該年度中に、ある分野の助成金に予算残が生じた場合、他分野の助成金に流用できる。

(注3) 前年度の助成金に余りが生じた場合、先方都合により戻り収益が発生した場合は、原則、当該年度の助成金に加える。

(注4) 支払助成金に充当するため、特定費用準備資金(支払助成金加算積立資産)を200万円取り崩すものとする。(残高:2000万円→1800万円)